

アイエスエフネット
(東京都港区、渡辺幸義社長)は、ITインフラ技術者の転職支援サービス事業に進出する。転職紹介を前提とした「お試し入社」など多様な多様なサービスを展開し、企業とIT技術者の双方のニーズに対応する。2030年には最大79万人のIT人材が不足するとされる。

人材が不足するとされる。同社は月内にサービスを開始し、5年後生かし、初年度は1億円以上の売り上げを目指す。

たるIT人材派遣で培った人脈やノウハウを生かし、初年度は1億円以上の売り上げを目指す。

その後に転職を決めることが可能。企業側も人材が社風になじむかどうか確認した上で採用できる。

今後は人材派遣でスキルを身に付けてから転職支援サービスに登録し転職するといった選択肢も可能となる。

同社は現在、約20

00人のITインフラ

技術者を抱え、韓国や

シンガポールなどの海

外拠点にも派遣してい

る。デジタル変革(D

X) 需要の拡大を背景

ITインフラ転職支援

アイエスエフネット「お試し入社」など多彩

技術者も希望があれば登録が行える。

一方、人材派遣サー

ビスでは同社の社員と

して採用した上でIT

インフラ技術者として

育成する制度もある。

今後は人材派遣でスキ

ルを身に付けてから転

職支援サービスに登録

し転職するといった選

択肢も可能となる。

その後に転職を決める

ことが可能。企業側も

人材が社風になじむか

どうか確認した上で採

用できる。

その後に転職を決める

ことが可能。企業側も

人材が社風になじむか
どうか確認した上で採
用できる。

に人材不足問題が深刻化する中、今後は人材派遣と転職支援を事業の両輪とする方針。